

日本ヒューム株式会社 個人投資家向けIRセミナー

2026年7月7日



 NIPPON HUME

日本ヒューム株式会社

東証プライム : 5262



1. 日本ヒュームとは
2. 3つの事業
3. 変革の結果と、次のスタート
4. NEXT100 成長戦略
5. 株主還元
6. エンディング

1. **日本ヒュームとは**
2. 3つの事業
3. 変革の結果と、次のスタート
4. NEXT100 成長戦略
5. 株主還元
6. エンディング

会社概要

設立	1925年10月20日
本社所在地	東京都港区新橋5丁目33番11号
資本金	52億5,140万円
従業員数	701名(2026年月期(連結))
上場市場	東証プライム(証券コード:5262)
売上高	402億円(2026年3月期)



頻発する道路陥没・自然災害



八潮市陥没事故現場写真
(撮影：日本水道新聞社)



豪雨でマンホールから水が噴き上がる様子

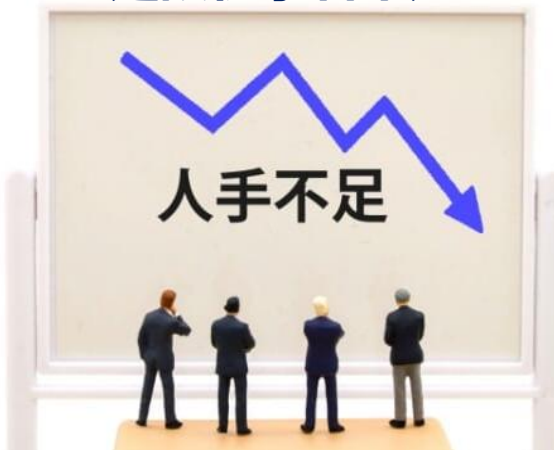
社会課題 = 社会が出している宿題

主な社会課題

社会インフラ老朽化



建設従事者不足



脱炭素とインフラ長寿命化

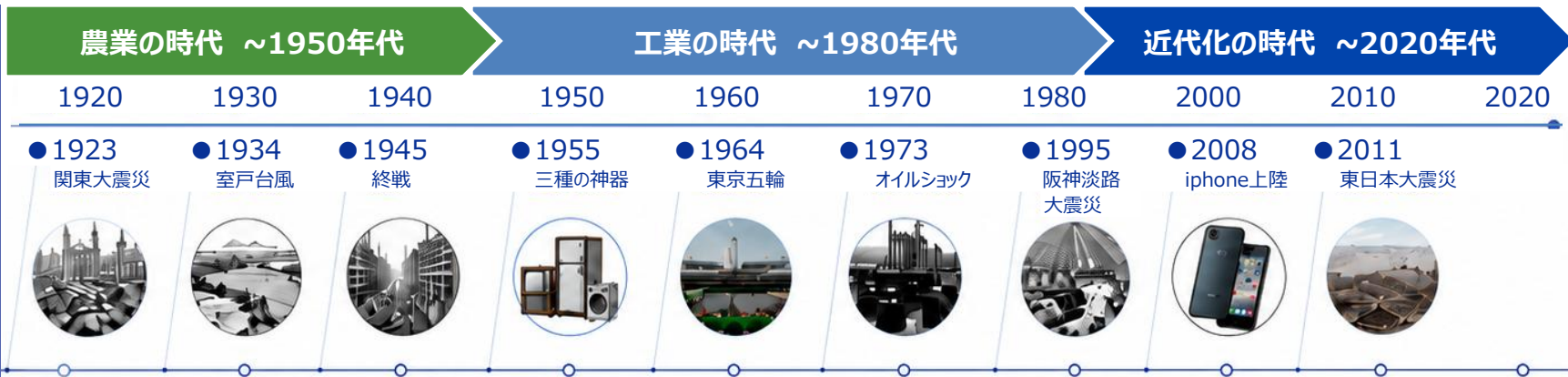


新しい技術・サービス・市場へ

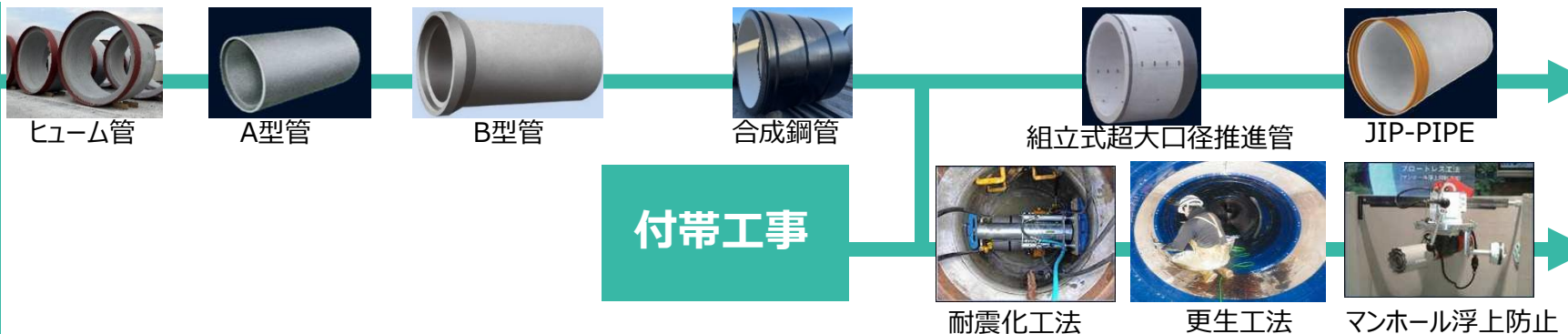
創業からのあゆみ

社会の変化

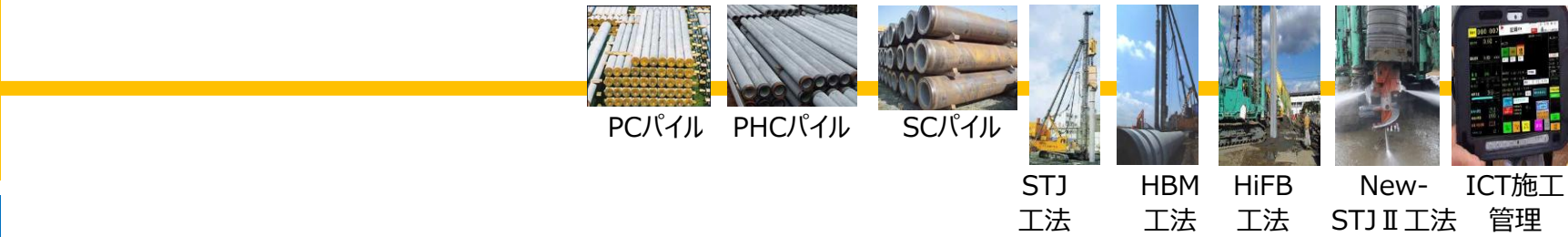
時代の社会的課題
に引き合い、
インフラ整備と共に未
来を支えてきました



下水道事業



基礎事業



プレキャスト事業



1. 日本ヒュームとは
- 2. 3つの事業**
3. 変革の結果と、次のスタート
4. NEXT100 成長戦略
5. 株主還元
6. エンディング

日本ヒュームの3事業体系

基礎事業 ~建物を倒さない



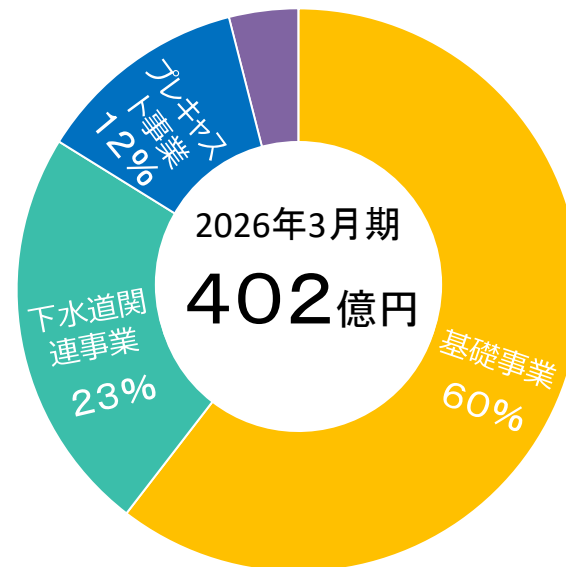
下水道関連事業 ~街を止めない



プレキャスト事業 ~建設現場を変える



売上高構成比



2026年度3月期業績

売上高 **24,297百万円** +1,577百万円
+6.9%

営業利益 **1,329百万円** +24百万円
+1.9%

主な事業概要

- コンクリートパイルの設計・製造・販売・施工のワンストップ体制



コンクリート杭



基礎工事

事業基盤強化



日本ヒューム株式会社



株式会社 中部基礎

2026年度3月期業績

売上高 14,356百万円 +1,531百万円
+11.9%

営業利益 2,608百万円 +672百万円
+34.8%

主な事業概要

- ヒューム管、セグメントなどコンクリート製下水道関連製品の製造
- 管路診断、耐震化、更生工事



ヒューム管



合成鋼管



耐震化工事



管路更生工事

主な事業概要

- 人手不足を解決 →「現場で造る」から「工場で造る」へ
- 生産性を高める→工期短縮、省人化、品質の均一化へ

壁高欄～道路・橋梁などの落下防止“壁”



工場製造



現場組立



PCウエル

人手不足を「制約」から「競争力」へ



e-CON(生物共生パネル)



3Dプリンター



NH-ROBOCON

低炭素型高機能コンクリート「e-CON」

e-CON[®]

共同開発：東京都下水道サービス株式会社

e-CONとは



セメント不使用で
産業副産物を
約90%活用した
e-CONパウダーが
主材料



普通コンクリート



e-CON

CO₂排出量約80%削減
耐硫酸性が10倍以上
耐塩害性が5倍以上

e-CONが支える多様な製品群



ヒューム管



ボックスカルバート



セグメント



マンホール

e-CON 信頼を証明する外部評価一覧



建設技術審査証明
((一財) 土木研究センター)



令和6年度土木学会
技術開発賞



国土交通省 NETIS登録
(新技術情報提供システム)



第34回地球環境大賞
「環境大臣賞」



(公社)日本下水道協会 II類認定適用資器材
「下水道工コ資器材」登録
"国内第1号"

長寿命化と脱炭素を、ひとつの技術で。インフラ更新需要を、次の利益成長へ。

1. 日本ヒュームとは
2. 3つの事業
- 3. 変革の結果と、次のスタート**
4. NEXT100 成長戦略
5. 株主還元
6. エンディング

業績ハイライト（業績推移）

業績の推移



業績ハイライト（2026年3月期）

項目	2026年3月期 実績	23-27計画R 最終年度目標値
売上高	402億円	400億円
営業利益	25億円	22億円
営業利益率	6.3%	5.5%
経常利益	38億円	31億円

- 売上、営業利益
ともに **過去最高**
- 中期経営計画目標値を
2年前倒しで達成！

現場との対話～車座会議

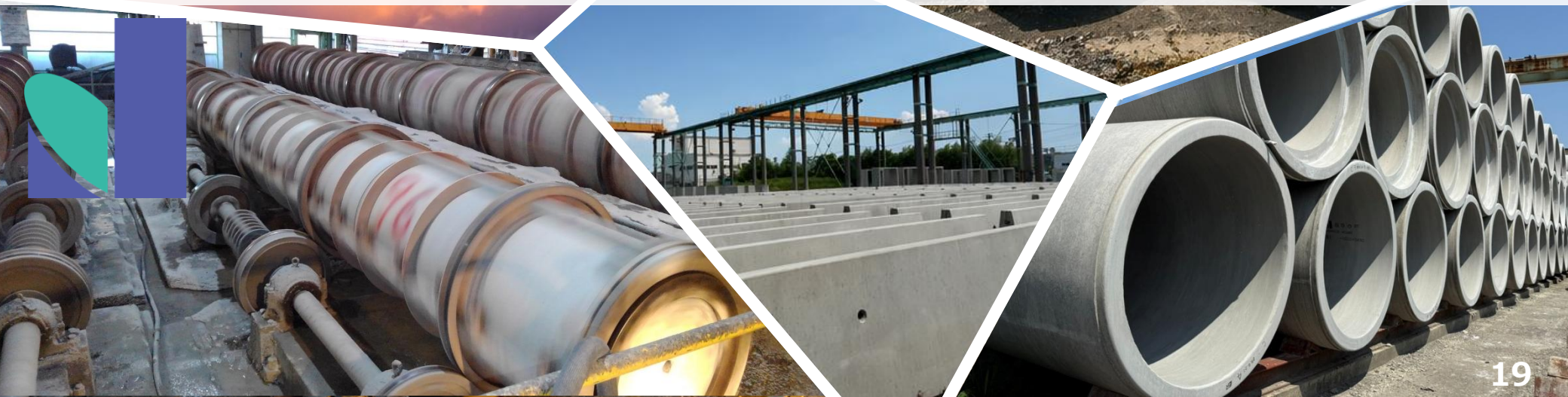


1. 日本ヒュームとは
2. 3つの事業
3. 変革の結果と、次のスタート
4. **NEXT100 成長戦略**
5. 株主還元
6. エンディング

26-30計画 NEXT100



**構造改革で“稼ぐ力”を作り、次の成長へ
-売るだけの会社から、最後まで責任を持つ会社へ-**



社会・政策の潮流

下水道法の一部改正

- ・老朽化診断の基準を法制化
- ・点検・修繕・改築や災害・事故時の応急措置の容易性

※令和8年3月27日に閣議決定

国土交通省インフラ長寿命化計画 (行動計画)

- ・インフラメンテナンスの生産性向上の加速化
- ・計画的・集中的な修繕等による「予防保全」への本格転換

※令和3年6月18日第2次計画策定

ICT指針

- ・建設技能者の担い手不足
- ・省力化による生産性の向上

※令和8年7月1日 最近の建設業行政について抜粋

当社の強み



ドローン点検



e-CON
低炭素型高機能
コンクリート



3Dプリンタ



Pile-ViMSys



NH-ROBOCON



国が目指す社会の実現を
技術で支える

「26-30計画」NEXT100数値目標

将来ありたい姿

「23-27計画R」



- ・停滞期から成長軌道へ
- ・収益構造の改革

「26-30計画」
NEXT100



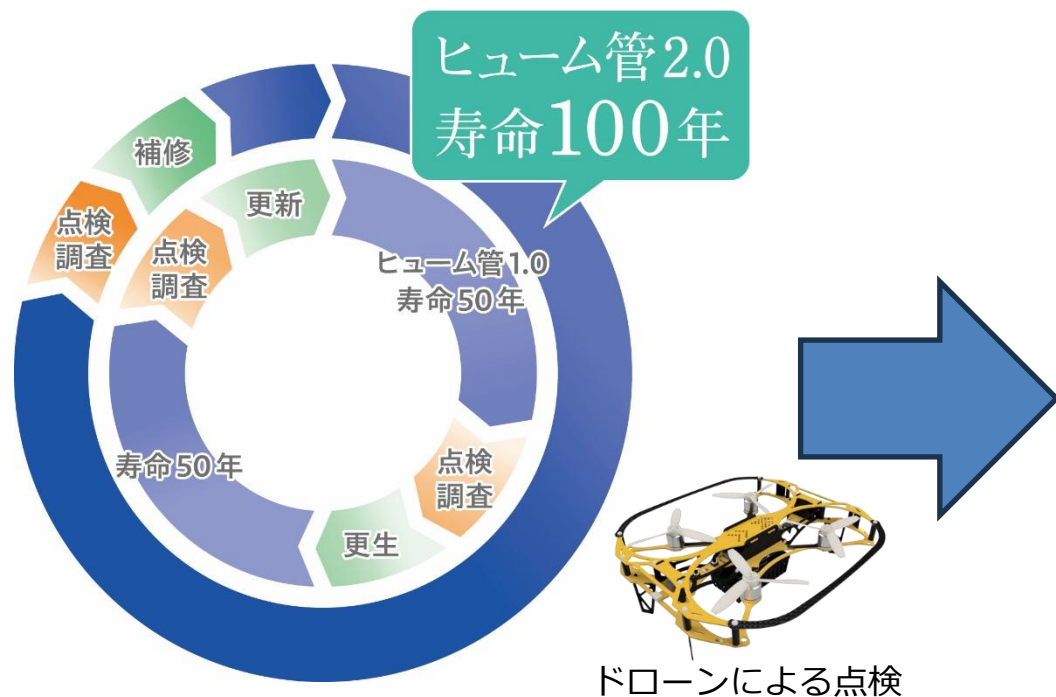
- ・飛躍的な成長ステージへ
- ・事業構造の転換



- ・業界のエクセレント企業
- ・持続的に成長する収益構造



下水道関連事業成長戦略 -ヒューム管2.0-



モノを売る会社から、
インフラの一生を
支える会社へ

短期

- 浸水対策製品
- 耐震化工法
- 更生工法

中期

- 下水道管の複線化
- 広域化に伴う連絡管

長期

- 下水道管路の調査診断⇒補修
修繕⇒更新改築までを一貫して
行うワンストップサービスによる
ストック型収益モデルへの転換

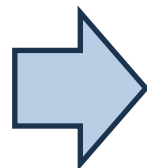
2031年3月期
目標

売上高 **121億円** 営業利益 **24億円**

基礎事業成長戦略 -安定的な利益成長を支える収益基盤-

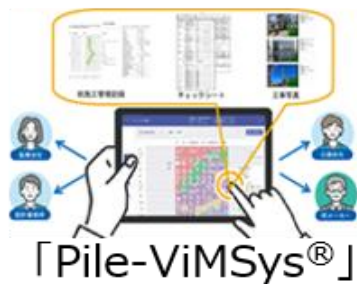
市場環境と今後の見通し

- ・人手不足の深刻化
- ・資材価格の上昇
- ・残土の廃棄問題



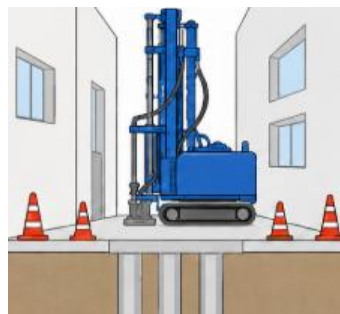
高付加価値化・難条件対応
ICT施工による差別化

ICT施工



難条件対応

- ・狭隘地施工
- ・障害物撤去など



i-Construction

建設現場のオートメーション化

2040年度までの目標値

- ・省人化 3割以上
- ・生産性 1.5倍以上

当社の取り組み

- ・ICT施工の推進
- ・施工のオートメーション化

2031年3月期
目標

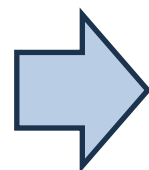
売上高 **369**億円

営業利益 **24.6**億円

プレキャスト事業成長戦略 -第三の柱として育成-

市場環境と今後の見通し

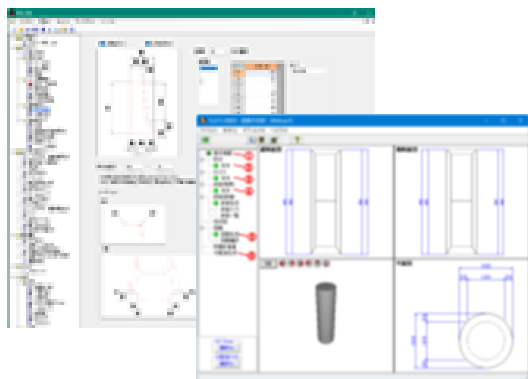
- ・人手不足の深刻化
- ・工期短縮ニーズの高まり
- ・生産性・品質向上



プレキャスト化の加速

設計業務へのAI適用

設計提案のスピード化

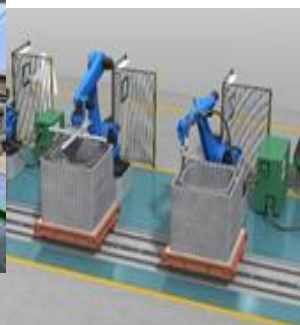


生産性向上・コスト競争力強化

- ▶ 3Dプリンター
- ・埋設型枠
- ・自由断面



- ▶ 製造の自動化
- NH-ROBOCON



e-CON

- ▶ 耐酸性能10倍
- ▶ 耐塩害性5倍



ライフサイクルコスト
の縮減

2031年3月期
目標

売上高

94億円

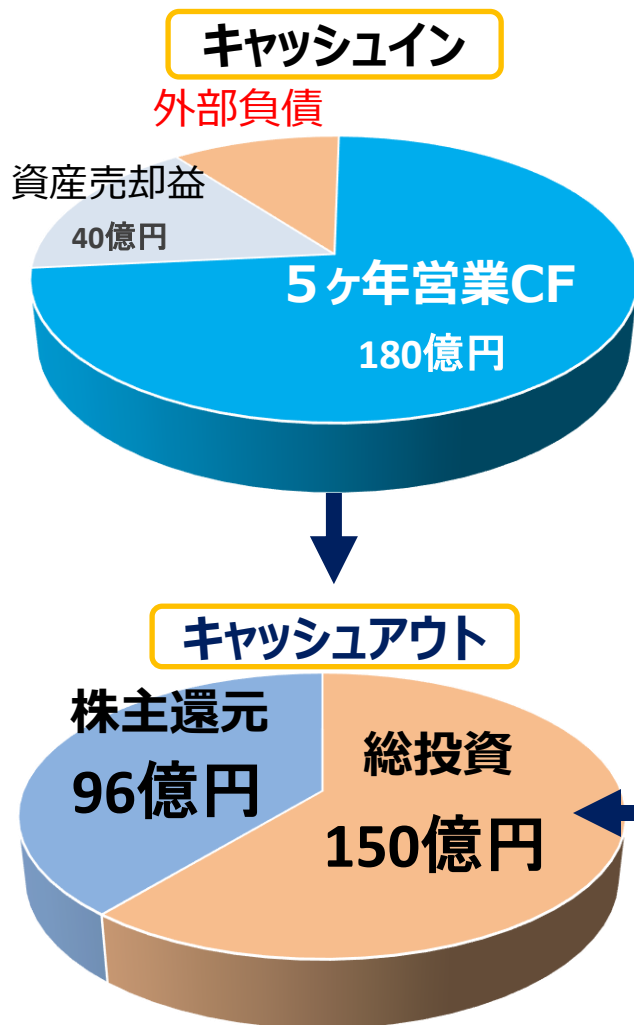
営業利益

15億円

1. 日本ヒュームとは
2. 3つの事業
3. 変革の結果と、次のスタート
4. NEXT100 成長戦略
- 5. 株主還元**
6. エンディング

企業価値向上の3つの柱 -成長投資、株主還元、資本効率-

「26-30計画」 資金配分計画



「26-30計画」 資本政策

ROE	8%以上
PBR	1.5倍以上
総還元性向	50%以上

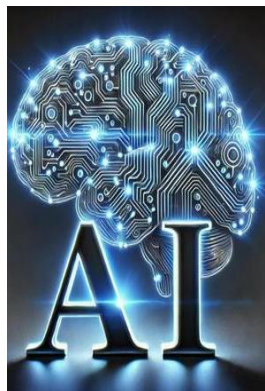
利益成長に応じた安定的な利益還元

成長加速 (M&A投資)	50億円
需要創出 (成長投資)	50億円
競争力強化 (基盤投資)	50億円

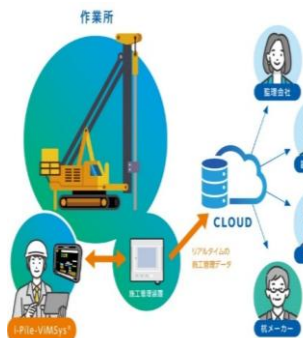
5年間で

150億円の成長投資を計画

社会課題を将来の収益獲得機会に



AI



DX



M&A



維持管理



プレキャスト製品



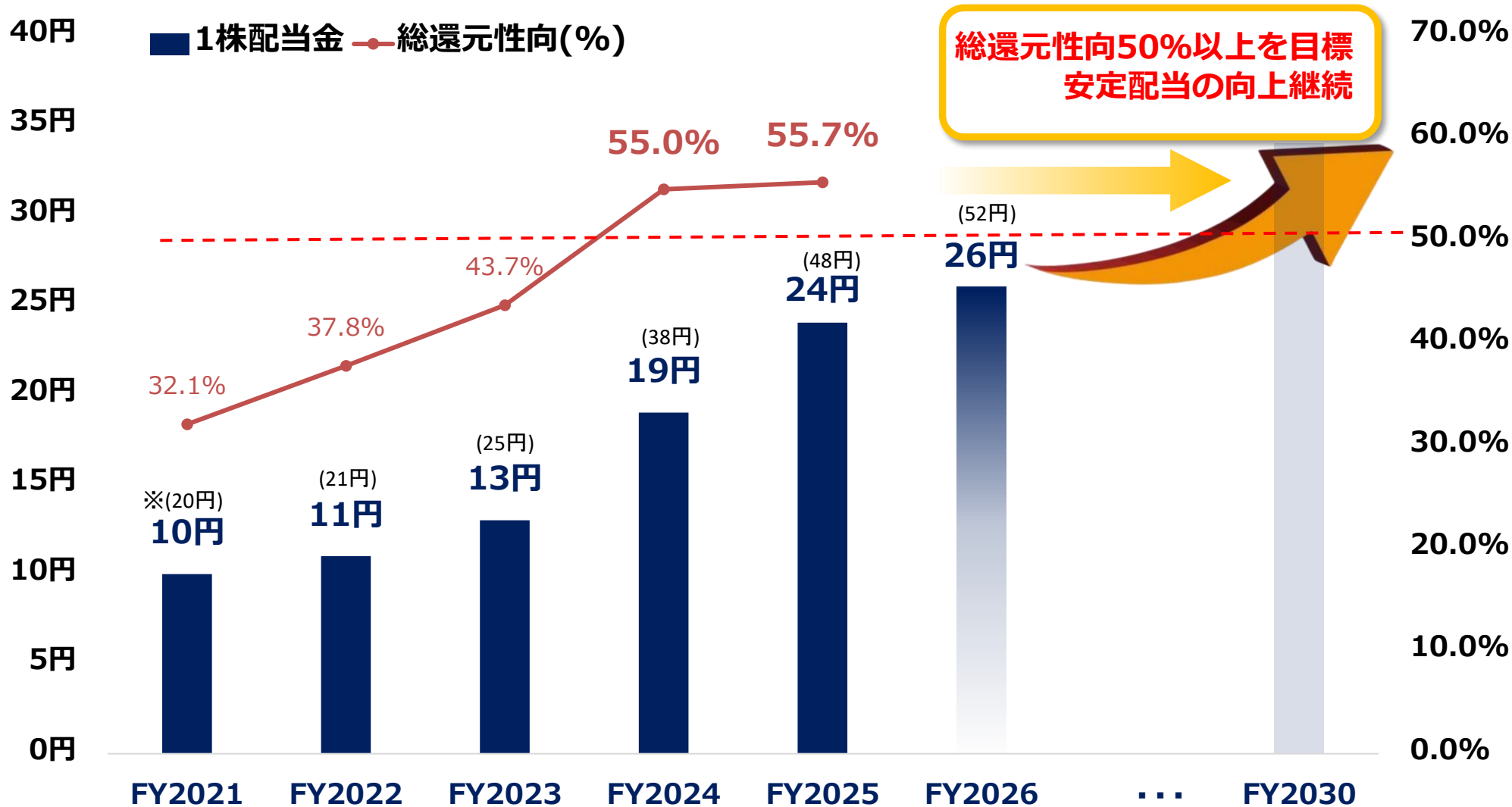
環境技術

中長期的な企業価値の向上

株主還元

還元方針：①総還元性向**50%以上**を目標

②利益成長に応じた配当の継続的な増加と安定的な利益還元



※かっこ書きの数値は分割前

株価推移

収益力の向上と成長戦略の推進により、企業価値向上に伴い株価は上昇基調で推移

- 2026年1月1日に株式分割を実施
- 投資単位の引き下げを実現
- より多くの投資家の皆さまにご参加いただきやすい環境を整備



※株価は株式分割（2026年1月1日、1株→2株）を考慮した調整後終値ベース

配当と株主優待による株主還元

日本ヒューム・プレミアム優待倶楽部

対象：毎年3月末・9月末時点で600株以上保有の株主様
内容：保有株式数に応じてポイントを進呈
ポイントは食品・ギフト券などお好みの商品と交換可能

🔍 日本ヒューム・プレミアム優待倶楽部



5,000種類以上の優待商品！

配当 + 株主優待による総合利回り（予想）

配当利回り **2.53%**

+

優待利回り **0.99%**

↓

総合利回り **約3.52%**

※株価1,013円（2026年6月16日時点）
4,000株保有を前提として算出

当社は総還元性向50%を基本方針とし、
成長投資と株主還元のバランスを重視しています！

1. 日本ヒュームとは
2. 3つの事業
3. 変革の結果と、次のスタート
4. NEXT100 成長戦略
5. 株主還元
6. **エンディング**



エンディング

